

令和3年度「新宿区第三次環境基本計画」の進捗状況報告について

1 概要

平成30年2月に策定した「新宿区第三次環境基本計画」では、計画の進行管理にあたり、毎年度「新宿区環境白書」を作成、配布し、区のホームページでも公開して実効性を担保することとしています。

今回、令和3年度の「新宿区環境白書」に基づき、「新宿区第三次環境基本計画」の進捗状況をご報告するとともに、点検・評価をしていただくため、平成30年度から令和2年度までの実績をとりまとめました。

基本目標の体系図

地域資源を活かし、区民・事業者・区が一体となつてつくる
持続可能な環境都市・新宿

基本目標

個別目標

1 地球温暖化対策・ヒートアイランド対策の推進

- 1 再生可能エネルギーの活用とエネルギー利用の効率化の推進
- 2 家庭及び職場の省エネルギーへの取組を支援し、環境に配慮したライフスタイルへの転換の推進
- 3 ヒートアイランド対策の推進

2 豊かなみどりの保全と創出

- 1 まちなかのみどりの保全と創出
- 2 水やみどりに親しめる環境づくり

3 資源循環型社会の構築

- 1 ごみの減量とリサイクルの推進
- 2 適正なごみ処理の推進

4 良好な生活環境づくりの推進

- 1 きれいなまちづくりの推進
- 2 都市型公害対策の推進

5 多様な主体の連携による環境活動と環境学習の推進

- 1 主体的な環境活動とネットワーク化
- 2 環境学習の推進

2 基本目標毎の主な実績

基本目標1 地球温暖化対策・ヒートアイランド対策の推進

- 個別目標1 - 1 再生可能エネルギーの活用とエネルギー利用の効率化の推進
- 個別目標1 - 2 家庭及び職場の省エネルギーへの取組を支援し、環境に配慮したライフスタイルへの転換の推進
- 個別目標1 - 3 ヒートアイランド対策の推進

指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標
温室効果ガス(二酸化炭素)排出量(平成25年度比)	13.1%削減 (平成28年度)	13.8%削減 (平成29年度)	15.6%削減 (平成30年度)	24%削減 (令和12年度目標)

省エネルギー行動の定着や電力供給時の二酸化炭素排出係数の改善により、順調に削減しています。また、令和3年6月には「新宿区ゼロカーボンシティ表明」を行い、区民・事業者等と一体となって連携・協力しながら、2050年までに区のCO2排出量実質ゼロを目指すことを表明しました。今後も、国の動向等を注視しながら目標達成に向けて取り組んでいきます。

指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標
「新宿の森」でのカーボン・オフセット事業によるCO2吸収量	363.75t-CO2	346.85t-CO2	277.45t-CO2	1,350t-CO2 (平成30年度～令和2年度の計)

目標値の約7割の達成度となっており、一定の成果を上げていると評価します。森林整備施業地の状況により年度毎の増減がありますが、今後も効果的・効率的な森林整備が継続できるよう、長野県伊那市、群馬県沼田市、東京都あきる野市と協力して取り組んでいきます。



<新宿打ち水大作戦>



<伊那市での自然体験ツアー>

その他の指標の達成状況

- ・指標「街路灯の改修」については平成30年度に小型水銀灯のLED化が完了しており、今後は、小型蛍光灯のLED化や大型街路灯の省エネ化に順次取り組んでいきます。
- ・指標「中小事業者向け省エネ対策支援事業者」については、目標件数である10件/年を達成しました。令和2年度は省エネ診断を行った10社のうち、9社に事業所用LED照明設置助成を行い、省エネ行動の促進に努めることができました。
- ・指標「遮熱性塗装の整備面積」については、令和2年度は1,763 m²を整備し、総整備面積は31,711 m²となりました。
- ・指標「緑被率」は、17.98%となりました。令和2年度に実施した「新宿区みどりの実態調査(第9次)」の結果を踏まえつつ、公共施設のみどりをより一層増やしていくとともに民有地の貴重なみどりを残すことで、歩きながら目に見える緑などを増やすような働きかけを行っています。

基本目標2 豊かなみどりの保全と創出

- 個別目標2 - 1 まちなかのみどりの保全と創出
- 個別目標2 - 2 水やみどりに親しめる環境づくり

指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標
公園面積の目標	117.28ha	117.41ha	117.41ha	新たに2haの公園面積を確保 (令和9年度目標)

令和2年度は、新設した公園はありませんでした。今後も第三次環境基本計画とみどりの基本計画で連携して目標達成に向けた取組を進めていきます。

指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標
神田川親水テラスの年間利用者数 (一般開放時)	1,183人	1,648人	中止	2,000人 (令和9年度目標)

神田川を中心に水辺の環境整備や小学校でのビオトープづくりを通じて、生物多様性に配慮した環境づくりなど、人と自然とのふれあいの場の創出に努めました。今後は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら安全に活動が実施できるプログラムを検討し、多くの方に利用していただけるよう周知に努めます。

新型コロナ感染拡大防止のため、神田川親水テラスの一般開放は中止しました



<みどりのカーテン>



<生き物・水質調査>

その他の指標の達成状況

- ・指標「緑視率」については、公共施設や民有地での緑化指導や生物多様性に配慮したみどりづくり等を推進し、積極的なみどりの創出・拡充に努めました。
- ・指標「みどりのカーテン新規設置数」については、令和2年度は299枚となりました。新型コロナウイルス感染症の影響により、例年開催している説明会等が中止となりましたが、ゴーヤーの種と育て方のハンドブックを配布することにより、みどりのカーテンの普及に努めました。

基本目標3 資源循環型社会の構築

個別目標3 - 1 ごみの減量とリサイクルの推進

個別目標3 - 2 適正なごみ処理の推進

指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標
区民一人1日あたりの区収集ごみ量	560g	555g	562g	484g (令和9年度目標)

前年度と比較すると7g(1.3%)増加しました。これは粗大ごみが増えたことが要因であり、新型コロナウイルス感染症の影響による在宅日数の増が原因と考えられます。今後ごみの減量や資源化への新たな取組を検討し、持続可能な資源循環型社会を目指します。

指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標
資源全体に占める不燃ごみから回収した資源の割合	0.6%	0.8%	0.5%	0.6% (令和2年度目標)

令和2年度の実績は0.5%となり、令和元年度に比べ減少するとともに、目標値を達成しています。



< 資源・ごみの収集 >



< 資源回収ステーション >

その他の指標の達成状況

・指標「新宿エコ自慢ポイント登録者数」については、令和2年度は3,520人で目標値(3,720人)には届きませんでした。登録者は増加しています。今後も、交通系ICカードによるポイント登録など新たな仕組みにより、登録者の増加を目指します。

・指標「ごみの減量やリサイクルに取り組む区民の割合」について、区政モニターアンケート結果によると、リサイクルに関する何らかの取組を行っているという回答した区民が令和元年度の99.4%から令和2年度は99.0%となり取組率は低下しましたが、ごみ減量・リサイクルの意識が高いと認められます。

基本目標4 良好な生活環境づくりの推進

個別目標4 - 1 きれいなまちづくりの推進

個別目標4 - 2 都市型公害対策の推進

指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標
駅周辺・生活道路での路上喫煙率	0.1% (駅周辺) 0.5%未満 (生活道路)	0.1% (駅周辺) 0.5%未満 (生活道路)	0.1% (駅周辺) 0.5%未満 (生活道路)	0.1%未満 (駅周辺) 0.5%未満 (生活道路)

駅周辺は0.1%とほぼ目標を達成しており、生活道路でも0.5%未満と目標値を達成しています。

令和2年4月に全面施行された改正健康増進法の影響や、路上喫煙禁止が周知されることに伴い、受動喫煙に対する意識が高くなり、これまで以上に対策の徹底が求められているほか、公衆喫煙所の利用者も大幅に増加していることから、公衆喫煙所周辺の喫煙マナーの向上や、公衆喫煙所の改善が求められています。

指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標
環境基準100%達成 (各年度調査)	大気中のオキシダント濃度、河川水質の一部及び自動車騒音の一部を除き、環境基準達成	大気中のオキシダント濃度、河川水質の一部及び自動車騒音の一部を除き、環境基準達成	大気中のオキシダント濃度、河川水質の一部及び自動車騒音の一部を除き、環境基準達成	100%達成 (令和9年度目標)

区内の大気汚染状況の中で、環境基準が定められている6種類の大気汚染物質及びダイオキシン類のうち、光化学スモッグの原因となるオキシダントについては、環境基準を達成できていません。新たな環境問題にも目を配りながら、今後も継続して監視測定を続けていきます。



< 新宿駅西口公衆喫煙所 (令和2年4月開設) >



< 四谷自動車排出ガス測定局 >

その他の指標の達成状況

- ・指標「自転車シェアリングの利用実績」については、新型コロナウイルス感染症の影響等により2.19回転/日と、令和9年度の目標である4回転/日を達成していませんが、引き続き、広域連携する各区や事業者と協力し、サイクルポートの設置等を進め、利便性の向上を図っていきます。
- ・指標「苦情処理の対応満足度」については、公害に関する相談が区民の生活様式の多様化に伴い、複雑化・高度化しています。令和2年度の対応満足度は85%となっており、前年度(86%)に比べてやや低い値となりました。今後も区民からの要望に対し迅速かつ的確な対応に努め、満足度の向上を目指していきます。

基本目標5 多様な主体の連携による環境活動と環境学習の推進

個別目標5 - 1 主体的な環境活動とネットワーク化

個別目標5 - 2 環境学習の推進

指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標
新宿エコ隊登録者数	5,444人	5,853人	5,870人	6,000人 (令和2年度目標)

第一次実行計画の目標を達成することができませんでしたが、「新宿エコ隊」への登録により、区民が日常生活において省エネに取り組み、地球温暖化防止につなげていく機会につながるため、様々な機会をとらえて登録の呼びかけを引き続き行っていきます。

指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標
環境問題・環境教育への理解・関心度	96%	97%		90% (令和2年度目標)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため環境学習発表会は中止となりましたが、発表会の担当地区の小学校では、環境学習の取組について学校のホームページで紹介するなど、積極的に環境学習を行いました。今後も次世代を担う子どもたちへの環境教育の充実・強化を行うとともに、区民が環境を学べる機会等の積極的な提供を行います。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、アンケートを取っていた環境学習発表会の中止による



< “新宿エコ隊”の隊員証 >



< 夏休みこどもエコ講座「エコにトライ！」 >

その他の指標の達成状況

- ・指標「環境に配慮した取組を行っている区民の割合」については、区政モニターアンケートの結果、95.9%となっており、目標どおり取組率が向上していると考えています。今後も引き続き、区民の取組を支援することで取組率の向上につなげていきます。
- ・指標「環境絵画・環境日記展の応募者数」については、989名の応募があり、多くの小中学生に対し環境への意識を高めるなどの学習効果を得ることができました。